令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
福　祉	社会福祉基礎	２	１－１

１．学習の到達目標

・介護の目的と機能を理解し、介護の基本・原則を把握する。更に利用者を理解するうえで解剖・疾患を理解させる
・近年急速に変化してきた老人福祉制度・及び障がい者（児）の福祉サービスと制度を学習することで福祉の政策・ノーマライゼーションとリハビリテーションをしっかり理解させ、国・地域のかかわり方を学習させる
・社会福祉基礎の授業を通して生徒の人権意識を高めるようにつとめる
・介護者像を理解させ、高齢者・障がい者の自立を支援させる目標で介護技術を通して信頼関係を築かせる

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	職務の理解 ①多様なサービスの理解 介護とは ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 介護サービスの仕事とは 介護の資格とキャリアシステム 介護における尊厳の保持・自立支援	・福祉の理念と福祉サービスの基本的な考え方を理解する ・人々が安心して「生活」ができるよう、日常生活を通して人間尊重、人間らしい生活の保障の重要性を身に付ける ・安全な介護技術の方法をマスターする ・介護に携わるものとしての意識付けと高齢者サービスの内容などを理解する
２学期	①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と他職種との連携 ②介護従事者の倫理 ③介護職における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職員の安全衛生	・人権と尊厳の保持、ＱＯＬの考え方、ノーマライゼーション、虐待防止・身体の拘束禁止、個人の権利を守る制度について理解する ・高齢者と障がい者の理解と家族の理解をすることにより介護の方法を適切に行うことができる ・介護の意味・目的など介護職員としてのあり方を理解させ、自らの意識づけ、日々の学習に対する姿勢を確立する・自立した生活（認知症高齢者や精神的障がい者）に対して支える制度を学習し理解する
３学期	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度 ②介護と医療の連携 ③障がい者自立支援制度 ④個人の権利を守るその他の制度	・法律の制定による政策の体系化、児童福祉法、身体障がい者福祉法、精神障害者福祉法、知的障害者福祉法、障がい者対策計画と障がい者プラン七か条について理解する

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査、提出物、授業態度等による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	介護の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、看護・介護に携わる者の意義や役割を理解している	介護業務に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている	看護・介護に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている

４．使用教科書・副教材

使用教科書	介護職員初任者研修テキスト１（中央法規）　社会福祉基礎（実教出版）
副　教　材	なし